

発行日：令和4年12月1日 発行者：葉栗連区地域づくり協議会

一宮市大毛字南出120番地（葉栗出張所内） 電話：28-9001

葉栗連区の人口と世帯数（2022.11.1現在）人口 16,356人（男7,986人 女8,370人）世帯数 6,821世帯

## ☆ いつも元気に！ 葉栗連区寿大学を開催

10月14日、一宮市高齢者の生きがいと健康づくり推進協議会葉栗支部主催で葉栗連区在住の65歳以上76名が参加し開校しました。

講座内容は、健康管理に関する講義3回、文化祭見学、修学旅行の5回開催されました。

第1回は一宮市木曽川市民病院リハビリテーション室医療技師 山田健太先生をお招きして「認知症予防」について行われました。



講義前半は認知症となる原因、症状の基礎知識と予防食材、生活習慣、日常生活の活性化に繋げる予防豆知識ついて。

後半は椅子に座ってできる認知症予防体操を受講者が実践。指、手、足をリズムに合わせて繰り返し動かす体操。左右の異なる動きには苦労している人もいて、楽しく体操を習っていました。

予防体操のポイントは「継続する」「やることが大切」「楽しくやる、笑う」が重要で脳の活性化が必要とのこと。

## ☆



## ☆ 第1回 佐千原グランドゴルフ大会 ☆

秋晴れの10月22日（土）、第1回佐千原グランドゴルフ大会（主催：佐千原老人クラブ、後援：佐千原グランドゴルフクラブ、協賛：佐千原町内会）が開かれました。

コロナ禍で様々な行事が中止を余儀なくされる中、少しでも体を動かし、参加者で親睦を深めました。

会場の坂手神社には、小学生からお年寄りまで45人ほどが集まり、



神社コースならではの木の根越え

ホールなどを攻略。ホールインワンや大たたきに、あちこちで歓声があがっていました。

主催者は「幅広い年代の方に楽しんでもらえてよかった。もち回りの優勝カップも用意したので、ぜひ来年も、もっと多くの方に参加してもらいたい」と、えびす顔であいさつをされました。



## ☆ 防犯カメラの設置を推進 ～葉栗連区地域づくり協議会 ☆

葉栗連区地域づくり協議会では、防犯活動事業の一環として、地域内に防犯カメラの設置を推進しています。

今回は、坂手神社西側横断歩道(東佐千原)、富塚児童遊園北側(富塚)、JA 愛知西農協北側(中大毛)、北高バス停南側(笹野)に設置しました。今後、市営島村住宅内(西山町)を予定しています。

今後とも『安全で安心 住みよい街 葉栗連区』を目指し防犯カメラの設置を続けていきたいと思えます。

設置を希望される場所がありましたら、町会長を通じて地域づくり協議会(事務局:葉栗出張所内)までご連絡ください。



### <今回設置された防犯カメラ設置場所の現場写真>



⑬坂手神社西側横断歩道(東佐千原)



⑭富塚児童遊園北側(富塚)



⑮JA 愛知西農協北側(中大毛)



⑯北高バス停南側(笹野)

右記 QR コードの読み取りで、地域づくり協議会だより第 67 号(5 月号)4 面の「防犯カメラ設置マップ」がご覧いただけます。



## ☆ 葉栗防犯パトロール隊の活動 ☆

『安全で安心 住みよい街 葉栗連区』を目指し、「葉栗防犯パトロール隊」が活動を開始して、今年で 7 年目。その目的は、

1. 犯罪を発生させないよう、地域内の巡回・監視
2. 地域住民の自主防犯意識の高揚
3. 女性や児童・生徒等、生活弱者に対する見守りにあります。

この間、侵入盗の発生件数は平成 27 年の 30 件に対し、パトロールを開始した平成 28 年は 16 件と 47%の減少。その後一進一退の状況が続きましたが、昨年度(令和 3 年)は防犯カメラの設置によ

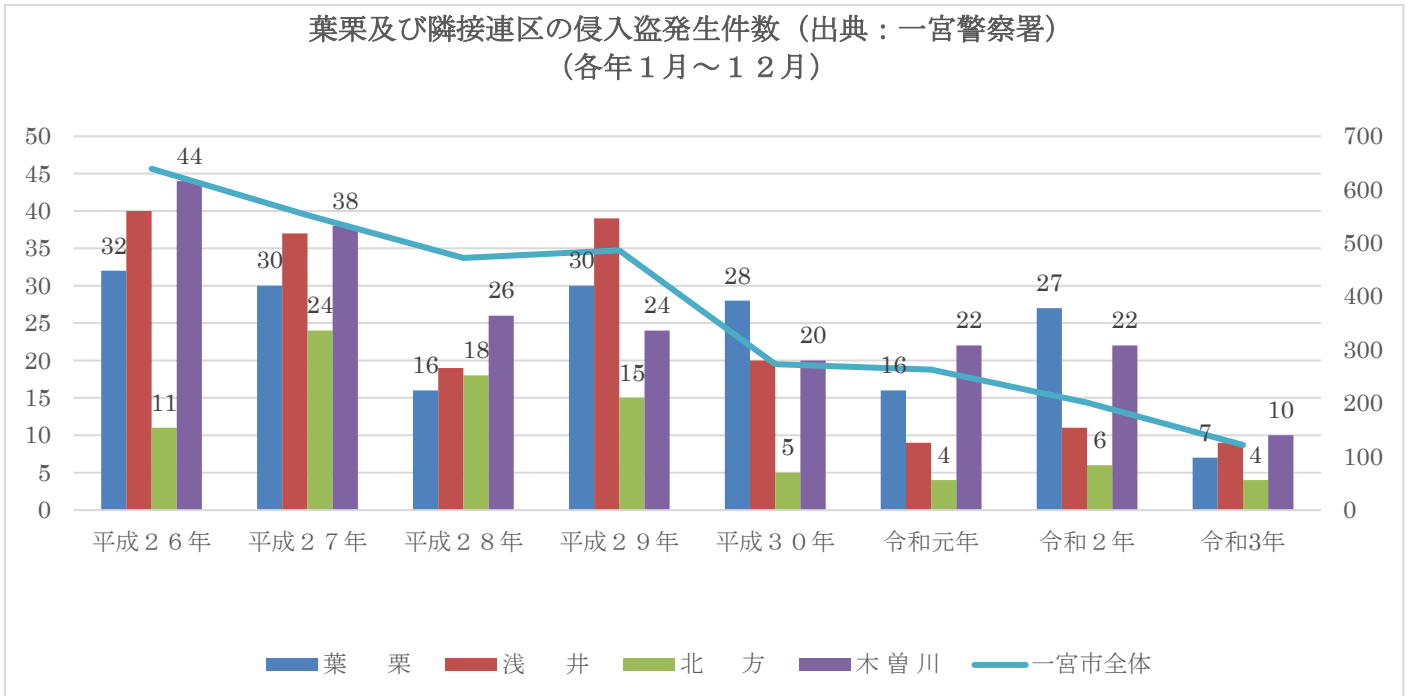
る相乗効果もあってか、7 件まで減少しました。(下図参照)

今後とも、防犯パトロール車の姿を見、アナウンスを聞くことで、地域の皆さまの防犯意識を高め、犯罪の抑止につながる活動を続けてまいります。

しかしながら活動開始から 7 年目となり、隊員も高齢化してきています。防犯活動に協力していただける方は、ぜひ下記へご連絡をお願いします

会 長 小島高夫 ☎090-3934-2943

副会長 山田友之 ☎090-7684-3877、副会長 青井秋二 ☎090-9944-8356



## ☆ 葉栗連区戦没者慰霊祭 開催 ☆

10 月 13 日(木)  
午前 11 時より、葉栗出張所内にある戦没者慰霊碑において、導師に河野栄泉寺住職、妙光禅寺住職をお迎えし、厳かに執り行われました。



この慰霊祭は、毎年 10 月に開催されており、今年は新型コロナウイルスの感染者数の減少傾向にあり、無事開催することができました。

この「義勇奉公」の慰霊碑は、今から 107 年前の大正 4 年 11 月に、当時の葉栗郡葉栗村の尚武会、帝国在郷軍人会葉栗村分会が、明治 37 年～38 年の日露戦争の戦死者、戦病死者の供養と従軍者の顕彰を目的に建立されました。

昭和 52 年に慰霊碑の大規模な改良工事が行われたとき、第二次世界大戦の英霊 198 柱の位牌も埋葬されたと思われます。

その後、平成 30 年 7 月の葉栗出張所の新築移転に伴い、慰霊碑も現在地に移設となりました。

現在、葉栗連区遺族会は 35 名の会員で構成されており、2 度と戦争のない平和な日本の将来を願い、日々手を合わせています。



